

# 東京片貝会報

発行 東京片貝会  
責任者 本田秀幸  
〒146-0084 大田区南久が原 2-32-10  
電話 090-4831-5580

## 東京片貝会 平成29年新年会御案内

師走の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。  
例年よりも長雨が続き、足早に到来した寒気が54年ぶりとなる早い初雪を降らせました。寒さが増し、木枯らしが身体に伝わる気候でございますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

会場を前回と同じく御徒町にある新潟県人会館に設け、下記の要領にて平成29年新年会を開催致します。  
同級生の方やお友達を誘い合い、多数のご参加いただきますようお願い申し上げます。

### 記

**日時**  
平成29年1月29日(日)  
午後1時(正午より受付)

**会場**  
新潟県人会館 2階  
東京都台東区上野1の13の6  
☎03-3833-27619

**会費**  
男性…5,500円  
女性…4,500円

返信は、1月13日(金)迄にお願い致します。



- 会場までのご案内
- ①東京メトロ千代田線「湯島駅」6番出口 徒歩1分
  - ②東京メトロ銀座線「上野広小路駅」A4番出口 徒歩5分
  - ③JR山手線・京浜東北線「御徒町駅」南口 徒歩6分
- \*ホームから南口改札へ降りるエレベーターがあります。

### 会の動き

- 理事会 5/22 於 新潟県人会館 本田会長以下16名
- 案内状・会報発送
- 総会打合せ
- 中学校同窓祭・総会 6/12 於 総合センター
- 本田会長出席
- 東京片貝会総会 6/26 於 東京グリーンパレス
- 会員69名
- 来賓・ゲスト35名
- 東京MCV全国大会応援 8/10・11 於 町田及び所沢体育館
- 本田会長以下5名
- 片貝祭 9/9・10
- 厄年同級会・出発式挨拶 本田会長以下12名
- 浅原神社大祭
- 本田会長列席
- 挨拶回り小学校、中学校 JA越後おぢや
- 相撲栈敷懇親会
- 会員多数参加
- 教育講演会 9/16 於 片貝中学校
- 本田会長、内藤会長、徳永理事
- 理事会 11/13 於 新潟県人会館
- 本田会長以下15名
- 活動報告
- 総会総括
- 新年会打合せ

### 会員短信

中川克子(昭17年卒) 面倒なお仕事がありでしょう。奥様もご協力下さっている事と思います。感謝致します。  
松下利夫(昭18年卒) 体調すぐれず、残念ですが欠席です。  
浅田義男(昭22年卒) 今年で最後かもしれません。第一回池袋の会場に出席しました。  
小宮秀雄(昭26年卒) 今回は都合で欠席ですが、次回からまた宜しくお願い致します。  
吉原靖子(昭27年卒) 主人の命日には家族が集まりお膳を囲んで思い出話をします。  
吉原武夫(昭28年卒) 元気に過ごしています。先約と重なり残念ですが欠席致します。  
品田紀美子(昭28年卒) 主人の体調が悪く欠席ですが、楽しい会でありますように。  
鯉島昭雄(昭29年卒) 体調が良くなってきた、新年会は出席できると思います。宜しく。  
後藤美恵子(昭31年卒) 皆様に会える事楽しみだったのですが予定が合わず残念です。  
宇野澤誠子(昭31年卒) 入院中ですので出席できません。ご盛会をお祈りいたします。  
高波国男(昭35年卒) ホームページで季節のアルバムを拝見し毎回楽しんでます。  
松井利弘(昭43年卒) 平成28年定年で片貝へ転居しました。

### 会合邂逅

・若杉会(昭27卒)では、去る5月25・26日に今回は片貝在住幹事のお世話で鬼怒川温泉で出合いの集いが行われました。喜寿の祝いを兼ね51名もの参加者があり、一夜語り明かしました。写真は、若杉会美熟女軍団の踊りです。



・友心会の堀井ひとみさん幹事で9月30日に新宿のびろく亭に於いてはんばき脱ぎの会が催され若手諸氏が集い大いに語り呑みました。



・総会では見事な腕前を披露されている徳永隆浩氏(さざなみ会)が11月6日に目黒区洗足でテーマを「豊麗で情熱ほとばしるレスピーギのヴァイオリンと二重奏」と題して。コンサートを開催されました。



伝統と現代の音色とが響き渡る  
**第57回総会開催**  
 平成28年6月26日  
 東京グリーンパレス

第57回定期総会が開幕し、会長の挨拶に続き役員員の再選と昨年度の会計報告および会計監査報告が行われ、承認されました。そして、前会長・陽光会の藤塚悟様の音頭で乾杯となりました。

続いて母校を励ます会内藤会長より金子小学校校長、小方中学校校長へ図書費が贈呈され、各校長より謝辞が述べられました。

和気あいあいとして歓談の輪が広がる中、伝統芸能保存会各位による正調シャガリの演奏、阿部尚様により「さんさしぐれ」の舞が披露されました。

42歳厄年が斉の神で行った餅巻き行事の映像を背景に元氣一杯のご挨拶を頂きました。また、片貝で催された同窓祭で好評を博したシャガリとプラスバンドのセッションの様子がスクリーンで映し出され、太刀川正和様よりご紹介がありました。

理事のささなみ会の徳永隆浩、安達智子両氏によるジャズ演奏は新鮮な音色を会場に響き渡らせ、会を一層盛り上げていただきました。

今回も、JA越後おぢや様からおぢや魚沼こしひかりを御贈呈頂き、全員にお土産としてお持

ち帰り頂きました。

会のメは恒例の熱のこもった「木遣り」合唱です。総勢百人を超える片貝人が輪になって熱唱し、慰十六会芝 文夫様の万歳三唱、芝副会長の閉会の辞でお開きとなりました。



〔来賓出席者〕(敬称略)

本田毅 (片貝町協議会会長)、大矢俊之 (片貝町協議会幹事)、大矢弘光 (小千谷市議会議員)、吉田敏明 (片貝町公民館館長)、根本忠 (片貝医院院長)、松井周之輔 (小千谷市教育長、佐藤永久 (東京新潟県人会副会長)、小宮博行 (JA越後おぢや常任理事)、吉原裕二 (片貝中学校同窓会会長)、小野塚祐一 (片貝中学校同窓会事務局長)、小方邦雄 (片貝中学校校長)、金子明子 (片貝小学校校長)、高

野栄久子 (片貝中学校PTA副会長)、芝 勲 (しろがね会会長・還暦 他2名)、小野塚昇 (友心会会長・50歳) 他3名、佐藤敦 (平成会会長・42歳) 他2名、名塚孝一 (片貝町伝統芸能保存会会長) 他10名

〔会員出席者〕(敬称略)

(昭和17〜30卒)  
 中川克子、安達和三、阿部修次、神林勝夫、黒崎晴郎、佐藤安治、浅田義男、大塚順一、中村恵美子、横手俊一、荒木ムツ、佐藤祐一、藤塚浩治、松岡規子、黒崎勝、本田正弘、吉原宏吉、吉井均

(昭和31〜39卒)  
 大塚國夫、大矢佐知子、小野塚清、黒瀬良子、小宮善興、芝満雄、藤塚悟、諸我時夫、安達弘、五十嵐哲郎、芝文夫、高波国男、吉原敏明、大矢とらじ、本田秀幸、松井京子、小野塚和夫、芝強、佐藤正志

藤塚 弘  
 つくし会(昭46卒) 町裏出身  
 東京片貝会のこととは以前から知っていたのですが、なかなか参加することができないところ、一昨年の還暦行事(つくし会)を機に片貝会の総会に出席し、同級生の内藤さんに誘われ少しでもお手伝いできました。今までは会の運営のことはほとんど知りませんでした。総会や新年会だけでなく会員による講演会や小、中学校への図書寄付、片貝祭への参加など地元片貝とのつながりを大切にしていることを知り、会員の皆様の強い郷土愛を感じております。40代50代の若い方々も多くいて、東京片貝会が各世代の方々によって運営されていることを知り頼もしく感じました。

若え衆登場

私も微力ながら、もつとつと会の良さを知ってもらい、参加される方が増えるように同級生や先輩、後輩にも声をかけていきたいと思っております。今年の新年会に多くの皆さんとお目にかかるとの楽しみをしております。

松山朱実

実生会(昭53卒) 寺町出身  
 片貝を離れてから三十数年がたったある日、同級生から

「来年五十の花火あげるよ、成人の時から出てないからこれを逃すと還暦だよ。」という連絡をもらいました。その時は三十年以上会っていない友人は私のことを覚えていてくれるのか、何を話したらいいのか不安な気持ちでいっぱいでした。お祭りの前に同級会に出席して、そこにいる友人たちだけでも二十歳の頃からウン十キロ増えた体重、膨らんだ容姿を認識してもらわなくては。出席した同級会では「どこの人ら?」「知らん人が同級会にいる」と遠くの席の人たちの話題になつていようでした。その後私だとわかると一気に時間は通り、話題は尽きず楽しく過ごすことができました。そして会長から、「東京片貝会の総会に出席して欲しい」と話があり、6月の総会で先輩達、同級生、後輩たちとふれあう機会を初めて体験しました。

何より片貝弁で話す会話が楽しく、また屋号と町内だけでこの誰かをわかっていただけのうれしさ、そしてメに全員で輪になって歌う木遣りは感動ものでした。お祭りや総会を通して改めて片貝の良さを実感しました。この度理事になることで、東京と片貝を繋ぐお手伝いを少しでもできればと思っております。

税務相談

お気軽にどうぞ  
 もろが会計事務所  
 諸我時夫(昭32年卒)  
 柏市増尾8-22-9  
 自宅 ☎04-7176-4528  
 事務所 03-3888-4190

諸我石材店

墓碑・灯籠  
 石材加工販売  
 諸我和成  
 〒947-0101  
 小千谷市片貝町一の町  
 ☎0258-84-2317

「雪国で手塩にかけて作った“白い宝石”」

米どころ雪国おぢやでつくられた  
 “魚沼産コシヒカリ”  
 清らかな水と肥沃な土壌で丹精込めて  
 作った逸品です  
 おいしさと安心を追求した黄金色の稲穂  
 から精米された  
 “白い宝石たち”  
 その炊きあがりの艶と風味の良さは魚沼  
 産ブランドの名にふさわしい逸品です

詳細は  
 ⇒ **JA越後おぢや**   
**JA 越後おぢや**  
 〒94-0021  
 新潟県小千谷市土川1-12-25  
 ☎0258-83-3525

第34回

母校を励ます会教育講演会  
「私の学んだこと」

〜渡米に至るきっかけと海外生活での学び〜  
ナオコ・ディガン氏 昭和54年卒 友心会  
平成28年9月16日 片貝中学校にて

講師ナオコ(直子)・ディガンの旧姓は安達(八島出身)です。ナオコさんはデザインを専攻しながら、ふとしたきっかけからニューヨークの他の街にない異様な雰囲気です。ナオコさんはアメリカに渡航しました。以来26年に渡ってニューヨークで暮らし、講演にも同行したマイク・ディガンさんという米国人の伴侶を得て、映像やイラストのデザイン事務所を13年前に自ら設立し、多くの顧客に恵まれながら活躍しています。



講演を終えて

ナオコ・ディガンさん(抜粋)

そんなナオコさんですが、実は文章として書かれた文字がひっくり返ったり順序が入れ替わって見えてしまうなど活字の読解に苦労するという症状に人知れず悩まされ、これを乗り越えてきたそうです。このような症状は米国ではよく認知されており、独自の空間認識能力や柔軟な発想などに支えられて芸術家や起業家として活躍している方多いとのこと。ナオコさんは海外に飛び出して夢を実現するのを支えてくれた周囲

講演を聴いていただきました。東京片貝会、同窓会、片貝中学校、町民の皆様、友心会の仲間達に感謝の気持ちでいっぱいです。生徒さん達の感想文も嬉しく読ませていただきました。ありがとうございました。ただ、もう少し複雑な気持ちにもなりました。私は、とても決断力がある、という印象を皆さんに与えてしまったようですが、実はどちらかといえば回り道を沢山しながらいまの生活にたどり着いた次第です。感想文には受験に対する不安なども記されていますが、私もあの頃を思い出しました。経験してみないと納得ができず何度もやり直すことで時間がかかってしまった。ここまでは長い道程の中、いや今でもいつも私の心情としている格言があります。◇意思のあるところに道は開ける◇物事は起こるべくしておきる◇大切なことは失敗しないことじゃない。失敗してもその都度起き上がることだ。孔子」今始まったことではありませんが、アメリカでは大統領選挙に絡みかなりの混乱状態です。人種差別に偏見をもった国民の大半は貧教の傾向が高いというデータがあるようで、無知から来る恐れから偏見が生まれるともいわれているようです。今更には、学校教育の大切さをつくづく思い知らせています。皆さん、頑張ってください。

【母校を励ます会基金】

【協力者名】  
敬称略・順不同  
(H28・4・1〜10・31)

松下利夫(18)、阿部修次、安達和三、黒崎晴郎、佐藤安治、神林勝夫(21)、大塚順

【東京片貝会への「寄付」】

左記の方々よりご寄付を、JA越後おちや様より祝金とお米を頂き、厚く御礼申し上げます。

敬称略、順不同  
(H28・4・1〜10・31)  
太刀川三郎(15)、阿部修次

一、豊島文枝(22)、中村恵美子、長岡利夫(23)、大坂照子(25)、石橋行夫、荒木ムツ、佐藤祐一、藤塚浩治、藤塚文頭、松岡規子(27)、安達隆、黒崎勝、吉原宏、吉原武夫(28)、松本キイ、宮下愛子、吉井均(30)、浅田美智夫、芝満雄、小野塚清、大塚國夫、藤塚悟、軍司雅子、小宮善興(31)、吉井信三、諸我時夫(32)、安達弘(33)、安達弘五十嵐哲郎(35)、大矢とらじ、高野鈴子、松井京子、本田秀幸、吉原敏明(37)、芝強、小野塚和夫(38)、天野八重子、佐藤正志(39)、岸井久美子、相崎俊夫(40)、安達徹、安達仁(41)、安達裕子、安達亮一(42)、内田京子、藤塚弘、内藤富美子(43)、藤塚伸雄(48)、安達智子、徳永隆浩(52)、徳永雅史(53)、吉田博男、堀井ひとみ(54)、佐藤潤(55)、吉田貴裕(56)、相崎清輝(57)、友田啓(58)、白石知子(60)

(21)、大塚順一(22)、小宮善興、芝満雄、藤塚悟(31)、安達弘(33)、芝文夫(35)、大矢とらじ、高野鈴子、寺町明美、松井京子、本田秀幸(37)、小野塚和夫、芝強(38)、天野八重子(39)、安達徹、小林和弘(41)、勝俣一司(42)、徳永雅史(53)、山口昌幸(55)、吉田貴裕(56)、相崎清輝(57)、友田啓(58)、白石知子(60)

片貝ルーツの活躍、ご存じ?

近頃世界の海洋汚染が拡大し、この現状に警鐘を鳴らされている佐藤克文東京大学教授(海洋生態学)が中心となり、野生動物の生態を探るデータロガー(小型記録装置)を取り付け環境実態をバイオロギングという手法で調査されています。

その研究成果を多くのメディアで発表され、8月16日付朝日新聞に「ゴミを誤食するアオウミガメの受難」が掲載されました。現在、佐藤教授は東大大気海洋研究所で後輩の指導をされつつ、世界中を駆け巡り海洋汚染に警告を発信しています。

実は佐藤教授は東京片貝会五代会長の佐藤祐一氏のご子息です。片貝がルーツである克文氏のご活躍を誇りに思い、地球環境を守る為、益々のご活躍を願っております。

感動空間  
新宿レフカダ  
落語、漫才、コンサート  
楽しい事がここにある!  
芝強(昭38年卒)  
新宿区新宿5-12-4  
☎03-5366-0775  
http://lefkada.jp/

心と技で築く  
快適なマイホーム  
一般建築・設計施工  
ナック式融雪住宅 般-22  
(有)藤沢建築  
藤沢貞夫(永遠会)  
小千谷市片貝町一ノ町  
0258-84-2186

TECHNICAL  
CASTING  
COMPANY  
株式会社 マツオ技研  
本社・工場 小千谷市片貝町2670  
TEL 0258-84-2421  
FAX 0258-84-3208  
http://www.matsuogiken.co.jp

MELVE  
代表取締役  
大矢良一(にじ会)  
株式会社 メルベ企画  
小千谷市片貝町6312  
TEL・FAX 0258-84-3728

※有料企業広告を募集中※

# こども・は・な

## ■小学校 楠田教頭先生

◇金子校長の呼びかけで夢枕プロジェクトが発起し、熊本で被災された方へせめて夜ゆつくり休んでほしいと、六月に願いを込めた手作りそば殻枕173個を熊本に送りました。

◇六年生は祭りに訪れる観光客に町をもっと知ってもらおうと自分たちで調べた情報をチラシにして配ったところ大好評で直ぐなくなりました。

片貝を好きになる有意義な活動でした。◇八島出身の音楽家安達ロベルトさんが片貝小のために囃子を編曲され、五年生児童と一緒に何度も音合わせをしました。この素敵な曲をもみのキッズ学びランドや市の親善音楽会で披露しました。◇児童の活躍(一位のみ)◇わんぱく相撲小千谷場所・女子一年小宮凜花二年藤塚まり四年藤塚美礼・男子四年浅田晃誠五年黒崎碧琉六年浅田優心◇市親善水泳大会・男子五年百m平泳ぎ横山流惟・女子六年50m背泳ぎ小林日香莉◇市ジュニア陸上大会・男子五年千五百m坂井駿介五年走り幅跳び佐藤陸六年百m吉井愛斗四百mリレー・女子四年八百m藤塚美礼・五年走り幅跳び須田愛・四百mリレー・六年市親善陸上大会男子百m

H28年6月より  
H28年11月まで

吉井愛斗80mH高野大走り高跳び山口凜二四百mリレー女子百m佐藤友希乃80mH横山花陽四百mリレー◇小千谷学童相撲大会女子一年大塚煌莉四年藤塚美礼・男子四年浅田晃誠五年黒崎碧琉六年浅田優心団体優勝◇県競書大会特選四年鈴木るう◇新大競書大会特選四年鈴木るう◇全国作文コンクール県審査優秀賞三年山口修平◇県発明工夫展県教育賞賞四年高橋恵大

## ■中学校 南雲教頭先生

平成28年度、男女バスケが市内大会を制しました。また、野球部は市内大会3連覇を達成！更に中越大会でも片巾バスケ旋風は続き、男女共に2位という好成績でした。野球部は県大会出場を賭けた延長戦の末さよなら負けで惜敗。県大会では女子バスケが3位と今季一際輝いてました。

また「教育の町片貝」として今年度から「ふるさと学習」が始まり、佐藤佐平治や朝陽館・耕読堂について学習に取り組んでいます。秋山郷での佐平治まつりや教育感謝祭に生徒も初めて参加し、ふるさとの良さをしっかりと学びます。これも片貝町の皆様からの熱いご支援の賜物です。初の試みとして11月29日に多

数のご来賓、保護者を招いてふるさと学習成果発表会を劇形式で行いました。

最後に今年度もナオコ・ディガン様による素晴らしい教育講演会開催していただき、生徒たちの今後の生き方の深い学びの機会となりました。改めて感謝申し上げます。

\*公式大会のみ○印順位◇三市一郡陸上競技大会共通女子八百m小林萌香③1年女子八百m井上美那海④◇魚沼四市二郡水泳大会女子百mバタフライ品田琴子①女子四百m個人メドレー品田琴子①◇市内各種大会野球①卓球男子団体③女子団体②女子個人小宮美空②女子バレー②男子バスケ①女子バスケ①◇中越大会陸上競技小林萌香⑦卓球女子団体②男子バスケ②女子バスケ②水泳女子百mバタフライ品田琴子②女子四百m個人メドレー品田琴子②(以上県大会へ)◇吹奏楽コンクール中越地区大会銀賞◇新潟県総合体育大会女子バスケ③水泳女子百mバタフライ品田琴子⑦女子四百m個人メドレー品田琴子⑤(以上県大会へ)◇市内新人大会男子バスケ②女子バレー②卓球男子団体③女子団体②女子個人堀井のあ②神林莉緒③水泳女子百mバタフライ品田琴子②女子四百m個人メドレー品田琴子②

## 町のいちご



佐藤祐一氏撮影

## ・農業の副読本贈る

JA越後おぢや(谷口熊一理事長)は、地域の大切な産業である農業を学ぶ社会科の副読本として、松井周之助教育長を介し市内の5年生に「農業とわたくしたちのくらし」と題した副読本を配布した。

(株)フーゲツ、とき賞受賞2015年度新潟県経営品質賞の中小企業部門で、卓越した「経営の仕組みのある企業」として賞設立から初受賞。

・モダンと伝統の融和

6/12片貝中同窓祭が催され、安達ロベルト氏(一心会)が作曲された楽曲を中学吹奏楽部とシャギリが共演した。

・佐平治を偲び、「祭る」

片貝商工振興会青年部が主催し、忍字亭庭園では、音楽演奏や紙芝居また飲食、物販の店が並びイベントが開催され、また忍字亭内では「小さな町の写真展」が行われ、町民から多数持ち寄られた明治から現在に至る写真を前に思い出話の花が咲いた。

・小学生力士、躍進中！

三之町の黒崎碧琉君(片小5年)が第19回北信越大会の

小学校五年の部で強豪を打ち破り見事優勝した。これにより全日本小学生相撲優勝大会への出場が決まった。

・技は和醸良酒の極みへ

高の井酒造「越の初梅」木村明裕杜氏は関東信越国税局酒類品評会の純米酒の部で優秀賞を得た。なお9月から県内限定で二千五百本の販売。

・米作りのご苦労に感謝

手作りの糺り機を体験する貴重な体験が片貝小で行われ、米作りの大変さと感謝を学ぶ機会として五年生30名ほどが参加した。

・駅伝に42チームが駆けつけた

片貝町体育協会が主催する第37回片貝町町民駅伝大会が開催され、総勢二百人を超える選手が出場し健脚を競った。

・ここにも凄腕がいる！

第23回交通安全ゲートボール大会が三仏生で催され、3つに分かれたコート全部で片貝のチームが優勝した。

・教育感謝祭が仲使山で開催

朝陽館・耕読館で教鞭を執った塾主らを祭る会に小学六年生と中学三年生が始めて参加し、学び舎の歴史に触れた。

・世界で活躍する片貝人

国際協力機構の東京支所に勤務する本田龍輔氏(愛星会)を講師として、中学生が国際協力の経験から学ぶ「生き方講演会」が開催された。

## JAの風景

## 陽光会 小宮善興

佐藤家は広大な敷地(数千坪)を土塀に囲まれ屋敷内には樹齢数百年のケヤキが覆っていました。正門玄関の左側は、酒屋川が流れ、木々も多く昼間も薄暗く近寄れない雰囲気でした。京屋お茶屋さんの脇の道に沿って、古く重みのある堀が続き、子供の頃、当時流行っていた時代劇映画(チャンバラ)にある、忍者がさつと堀の上に飛び上がるような世界を想像していました。この絵は子供の頃の堀を思い、本宅と塀を合成して描いており実際にはない構図です。(中略)



佐藤家の家主は代々佐平治を名乗っていました。昭和49年、二十六世佐平治氏が75歳で逝去された時小千谷市に売却され、現在の「けやき園・忍字亭」となりました。平成12年、二ノ町町内会は佐藤家親族一同と「佐藤邸さようならパーティ」を開きました。佐藤家は長い歴史は静かに幕を下ろしました。皆様のご協力でご報告をお届けできます事深謝 藤塚伸雄